

水土里レポート

投稿月日	令和6年7月19日(金)
タイトル	出前講座を行いました！
水土里レポーター名	水土里ネット高梁川用水 中村真二

令和6年7月3日、当土地改良区の受益地内の総社市立山手小学校で出前講座を行いました。

小学4年生55名と小学5年生62名を対象に、当土地改良区が管理している小阪部川ダムの大きさや目的、小学校近辺で見ることができる農業用水路のはたらき等を、電子黒板を使って説明をしました。参加した児童は、電子黒板に写された資料や写真を興味深く見ながら、時折投げかけるクイズや質問にも元気よく答えてくれました。質問時間では、日本に存在するダムの個数や、ダムに流れ込むゴミの処理方法等について質問がありました。授業後、アンケートをお願いし、その中には、高梁川の水は農業に多く使われていることやダムの役割がわかったとの感想がありました。今後も、小学生を対象に農業用施設の役割を伝えていく活動を続けていきます。



出前講座＜小学4年A組＞



出前講座＜小学4年C組＞



出前講座＜小学5年A、B組＞

その他の感想や意見

- ・今の暮らしがあるのは昔の人々が、ダムや用水路をつくってくれたおかげなのだった。
- ・水を大切に使おうと思います。
- ・水をきれいにする取組に参加したい。
- ・お米をつくるにはたくさんの水が必要なので、ダムに水を貯めておくことが大切だとわかった。